

2022 年度
創発的研究支援事業 年次報告書

研究担当者	海塩 渉
研究機関名	東京工業大学
所属部署名	環境・社会理工学院 建築学系
役職名	助教
研究課題名	寒冷負債の解明とモデル化による高血圧予見医学への挑戦
研究実施期間	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

研究成果の概要

2022 年度は寒冷負債解明のためのコホート研究に参加していただく調査対象のリクルートを行い、2 つのコホート対象集団を得た。一つは、他大学が工務店の協力を得ながら血管年齢の測定を実施していた既存コホートに調査協力者として参画し、2022 年度までで 500 名のベースライン調査を完了した。今後ベースライン調査の結果を分析し、まずは横断的に寒冷と動脈硬化の進行度（血管年齢）の関連性を検証するとともに、5 年後に同じ調査プロトコルで追跡調査を行う予定である。もう一つは、年間 15,000 名の健康診断を実施している施設との共同研究で構築する新規コホートである。2023 年度より、動脈硬化度 CAVI の測定を毎年行っている対象者に対して室温と家庭血圧の実測調査を開始する計画である。上記施設は、健診受診者の過去 25 年分のデータを保有していることから、前向きと後ろ向きの両面の分析から寒冷負債の解明を進めていく予定である。

以上 2 つのコホートについては、臨床試験登録サイト UMIN-CTR への登録を済ませている。

https://center6.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000047988

https://center6.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000057412